

【施設状況】

グループ名称	芋井公民館										
指定管理者名	芋井地区住民自治協議会						法人番号				
所管課	主	603200	家庭・地域学びの課	副							
構成施設	3373	芋井公民館									
施設分類	01	企画型	施設利用者圏域	01	地域施設	利用制適用区分	03	一部利用料金制			
施設概要	大集会室(ホール) 1、会議室 1、料理実習室 1、図書室兼学習室 1										
施設設置目的	公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、实际生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。										
基本方針等	地方自治法(第244条)教育基本法(第12条)の理念に基づく公の施設であることを念頭において社会教育法(第20条、第22条)に定める事業を、利用者の安全対策を図り、平等、公平な運営に努める。										
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・各種講座の実施 ・講演会 ・展示会の開催 ・図書等を備えその利用を図る ・貸館事業 										

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	<ul style="list-style-type: none"> ・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	<ul style="list-style-type: none"> ・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	芋井地区住民自治協議会			当該指定管理者の 指定回数	2 回	
指定期間	平成30年4月1日	～	令和5年3月31日	5年	当該指定管理者の 管理運営開始日	平成27年4月1日
指定 管理 者 の 健 全 性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。					評価
	特記事項 (問題等があった場合に、 その内容等を記入)					

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)	利用区分等	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	対前年比	評価
	利用者数	人	4,462	3,679	1,474	1,077	73%	
	利用率	%	6	6	5	3	72%	
							#DIV/0!	
							#DIV/0!	
							#DIV/0!	
(特記事項) 【令和3年度】新型コロナウイルス「まん延防止等重点措置」適用のため、公民館(1月28日～3月6日)は休館とした。開館時も感染対策のため、教室の収容人員を制限したことと、高齢者等が利用を自粛したこと等により利用者が減少した。								
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案		追加事業、未実施事業及び未実施の理由				
	市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> 芋井公民館の利用許可に関する業務 社会教育法第22条に規定する事業の実施に関する業務 芋井公民館の設備及び維持管理に関する業務 教育委員会が定める業務 芋井公民館の利用の許可、不許可及び取り消しに関する業務 施設、付属品及び物品の維持管理に関する業務 						
	自主事業	提案を求めている						
サービス維持・向上の取組み (広報等)	<ul style="list-style-type: none"> 公民館報 3回/年 発行。ホームページでの情報発信を行い、公民館活動の広報に努めた。 講座の開催等は、地区の回覧にチラシを入れる、住自協のホームページに講座の予定を掲載するなど新規利用者の増加につなげた。また生涯学習だより「まなびい」のページに講座の予定を掲載し、広報に努めた。 講座の申し込みをEメールでも可とした。 							

3

3 利用者評価

利用者評価	区分	内容		評価
	利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	利用者アンケート	
利用者からの評価・苦情等	(2) 調査、会議等の内容	・学級講座ごと受講者を対象に、講座終了時にアンケートを実施した。アンケートには次に希望する講座内容記載欄を設け、利用者ニーズの把握に努めた。 ・貸館利用者へは、利用簿に要望等の記載箇所を設けるとともに、返却時等に聞き取りを実施した。		
	(3) 調査、会議等の結果	実施した一般講座 15講座(15回) 講座参加者数 210人 うち アンケート回答者数 204人 満足 94.6% やや満足 5.4%		
	(1) 良好とする評価	「味噌づくり」芋井産の大豆2種をブレンドして使い味噌づくりを体験した。受講人数を制限しての開催だったが、申込者が多く2回開催した。味噌作りは「自宅では大変なため公民館でできて有難い」「市販のとは味が全然違う」「出来上がりが楽しみ」と好評であった。 「漬物講座」一度に大量に取れる夏野菜などの消費方法や保存方法を知りたいという住民の要望から実施。野菜を無駄にせず長い間楽しめたと好評だった。 「ホウキづくり」地元で栽培されているコキアで作成。コロナ禍で中止される講座が多く残念という声が多いため、対策を取り開催し喜ばれた。昨年からのリピーターや自宅でも育てると種を持ち帰る参加者もお喜び好評だった。		
(2) 苦情・改善等の要望事項	A.年度末に予定していた講座が、まん延防止重点措置により開催中止となり残念だという声が聞かれた。 B.2階ホールのカメムシ駆除の要望が多かった。			
「対応措置」	A.コロナ感染防止対策を取り開催できる内容の講座(ホウキづくり)を開催した。 B.都度駆除と清掃を行った。			

4

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和3年度)				市の収支				評価
	年度計画額		収支実績額		令和3年度決算		令和2年度決算(前年度)		
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	
収入	利用料金		利用料金	1,736	歳入	使用料		使用料	
	指定管理料	9,924,000	指定管理料	9,924,000		雑(納付金)		雑(納付金)	
その他収入	委託料		委託料		歳入	行政財産目的外使用料		行政財産目的外使用料	
	販売収入等		販売収入等			貸付料		貸付料	
その他収入	12,000	その他収入	13,941	その他		その他			
計	9,936,000	計	9,939,677	計	0	計	0		
支出	人件費	6,876,000	人件費	6,507,111	歳出	指定管理料	9,924,000	指定管理料	9,924,000
	設備管理費	220,000	設備管理費	187,938		委託料		委託料	
備品購入費		備品購入費	171,100	需用費		需用費			
修繕費	200,000	修繕費	12,100	役務費		役務費			
光熱水費	678,000	光熱水費	640,749	使用料・賃借料		使用料・賃借料			
事業費	478,000	事業費	323,050	修繕費		修繕費			
事務経費	1,496,000	事務経費	2,202,192	工事請負費		工事請負費			
本社経費		本社経費		備品購入費	104,170	備品購入費	46,200		
その他		その他		その他		その他			
計	9,948,000	計	10,044,240	計	10,028,170	計	9,970,200		
自主事業	収入		収入						
	支出		支出						
	自主事業損益	0	自主事業損益	0					
損益		-12,000		-104,563	差引	-10,028,170		-9,970,200	
人件費比率【人件費(賃金等)／令和3年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)								64.8%	
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由									

5 管理運営全般 ※すべて で、「3」、「4」、「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

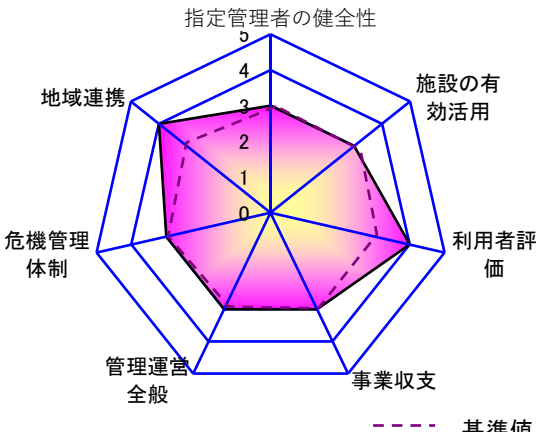
区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	配置実績 (うち市内雇用職員数) 館長1人(1人)、主事1人(1人)、事務職員2人(2人)		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
平等利用	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか		
経理	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか		
施設・備品の維持管理	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に行われたか		
セルフモニタリング等	2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか		
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか	<input checked="" type="checkbox"/>	

区分	確認内容	チェック欄	評価
危機管理体制	安全対策	☑	3
	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか		
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか		
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか		
	個人情報保護	☑	
	防犯、防災対策	☑	
1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか			
緊急時対応、体制	☑		
1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか			
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか		

7 地域連携

地域連携	評価
地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。	4
協定内容・指定管理者提案	
追加された内容、未実施の内容及びその理由	
1 地公連の事務局として地域公民館の要となり、地域公民館の相談に対応し連携を図る。 2 職員は、地域行事に積極的に参加し、住民との連携を図る。 3 住民自治協議会の各部会と共催して事業を行い、地域全体と連携を図る。 4 小・中学校・保育園・児童センターと連携し、保護者・祖父母も含めた事業を行い、PTAとの連携を図る。 5 講座の講師は、地元から積極的に採用し、地元の人材を活用する。 6 地域・地元との連携を円滑に行うため、職員は可能な限り地元から採用する。	

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	総合評価 
施設の有効活用	3	12	
利用者評価	4	16	
事業収支	3	6	
管理運営全般	3	12	
危機管理体制	3	6	
地域連携	4	8	
合計得点		66	

評価理由

- ・施設利用者は、1,077人で令和2年度1,474人と比較すると73.0%に減少しているが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策による休館と講座等の縮小によるもので、適正に運営されていた。
- 【利用者評価を4とした理由】
- ・講座終了後のアンケートでは、満足・やや満足で100%の回答を得ていること。講座の申し込みをEメールでも受付できるようにし、受講者の利便性を図っていること。利用者が気軽に要望を伝えやすい関係性を築き、利用者の要望を講座内容や運営に反映したことを評価した。
- 【地域連携を4とした理由】
- ・芋井の歴史を学会との共同事業で、公民館に保管されていた昭和40年代の小学生の書いた芋井地区の絵を活用し、「芋井の郷土史かるた」を作成した。読み札を新たに作成することで地域の歴史の学びに繋がりを、完成記念カルタ大会を開催し地域住民や小学生が参加し交流が図られたことを評価した。

取組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等(改善されていない場合)

次年度の目標・取組み等 (施設所管課)

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底し、引き続き利用者が安心して利用できる施設を目指す。
- ・ホームページや地区回覧等、さまざまな情報発信を行い、施設の魅力や講座をPRし、利用者の増加を目指す。
- ・住民自治協議会や小中学校をはじめとする教育機関、地域の事業者と連携した事業の実施を目指す。

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

公民館報3回/年発行した。
 ホームページの更新やツイッターでの情報を発信し、公民館活動の広報に努めた。
 講座の開催等は、地区の回覧にチラシを入れる、住自協のホームページに講座の予定を掲載するなど新規利用者の増加につなげた。また、生涯学習だより「まなびい」のページに講座の予定を掲載し、広報に努めた。
 講座の申し込みをEメールでも申し込めるようにした。

② 業務の効率化に対する取組み

昨年導入したWifi設備を活用して指定公民館内で毎月Zoomによるオンライン会議を開催し、Zoomの仕組みを理解し今後の講座や業務効率に活用できるかを検討を行った。

③ その他

(2) 指定管理者業務実施上の課題

施設の老朽化に伴い施設内機器の故障が増えると思われる。

(3) 総合評価

評価基準

【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり
 【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者
自己総合評価

C

① 評価理由

新型コロナウイルス感染拡大防止対策により、高齢者の不用不急の外出が制限されるなか、感染防止対策を徹底しながら講座を開講したが、参加者から人と会うこと、会話することが大切で、「講座に参加してよかった。」「講座を開講してくれてありがとう。」という声を多く聞いた。人と人とが交流できる講座を開講する大切さを実感した。
 新型コロナ感染防止によるまん延防止重点措置の適用などにより予定していた公民館事業で開催中止となったものもあったが、昨年から引き続き感染対策を講じ、人数を制限しながら講座を開講した。

② 次年度以降の取組み

新型コロナウイルス感染症対策を徹底した上で、講座等より多くの公民館事業を開催・実施したい。